

科目名	表現の指導法				担当	吉澤 俊・今井 香織		
形態	演習	単位数	1	開講時期	1年後期	実務経験	義務・高校等での教諭経験	
必修	幼免：必修 保育士：必修				ナンバリング	Y3111	DPとの関連	3
授業概要	音楽・造形表現を中心とする表現の指導法を模擬保育等のグループワークによる演習を通して学びます。教材研究・指導案作成・活動の進め方を実践的に学びます。							
到達目標 学習成果	1. 幼児の表現に関する知識・技能を習得する 2. 模擬保育を通し、教材選択や環境設定を工夫しながら幼児の表現活動を展開していくための技術を身に付ける							
授業計画	回	内容						
	1	幼児の音楽表現-1	幼児と音・音楽（グループワーク）					
	2	幼児の音楽表現-2	領域「表現」と音楽表現					
	3	幼児の音楽表現-3	幼児の発達と音楽表現					
	4	幼児と歌-1	幼児が歌うこととは					
	5	幼児と歌-2	手遊び歌、わらべ歌（グループワーク）					
	6	幼児と楽器-1	楽器の特徴と奏法					
	7	幼児と楽器-2	楽器遊び（グループワーク）					
	8	模擬保育①	教材研究 指導案について グループワーク					
	9	模擬保育②	グループ決め 主題決定 教材研究 指導案作成					
	10	模擬保育③	模擬保育					
	11	模擬保育④	模擬保育					
	12	模擬保育⑤	模擬保育					
	13	模擬保育⑥	模擬保育					
	14	ドキュメンテーション	ドキュメンテーション作成演習					
15	まとめ	見返しと課題						
評価基準	1. 幼児の音楽表現に関する知識・技能を習得できたか 2. 教材選択や環境設定を工夫しながら幼児の音楽表現活動を展開していくための技術を身に付けることができたか 3. グループワークに積極的に参加し、適切に役割を果たすことができたか							
評価方法	ドキュメンテーション レポート							
フィードバック 方法	ドキュメンテーションをもとにした話し合い 模擬保育評価レポート							
アクティブ ラーニング	ディスカッション、調べ学習、グループワーク							
教科書	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針原本』							
参考書	開講後、必要があれば指示する							
履修条件	幼児の音楽表現とは何かという問いを常に持ち、自分なりに感じたり考えたりしながら取り組むことを望む							
授業外学習	必要に応じて授業毎に指示する							
オフィス アワー	掲示等で確認のこと							